





平成28年度現地検討会実施状況（間伐の推進と丈夫な森林作業道づくり等）




分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
森林作業道	釧路地域森林資源循環検討会兼釧路地域林政連絡会議	6月20日	根釧西部森林管理署	鶴居村（国有林） 標茶町（国有林）	国有林	16名	地域で伐採作業の低コスト化を推進するため、効率的な森林作業道について検討	林地傾斜が中斜面と緩斜面の検討会場を用意した。堅固で縦断勾配の少ない森林作業道を作設した現場と森林作業道の作設延長は少なく高性能林業機械が林内で伐採作業を実施することにより、安全で低コストな作業環境の事例を紹介した。	
					民有林	32名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	48名			
森林作業道	森林作業道作設後の現地見学会	6月23日	十勝東部森林管理署	足寄町（国有林）	国有林	17名	森林作業道の普及定着と品質向上を推進するため、作設技術の向上と実証に向けた現地検討を実施	事業着手前の昨年7月に予定ルートを選定した段階で現地検討会を開催した箇所、融雪後の状況を確認する見学会を実施した。 新設してから約1年経過しているにもかかわらず、分散排水等がしっかり機能しており、融雪等による路体や路面の損傷は見られず、修繕しなくても高性能林業機械がそのまま利用できる状態であった。 参加者からは「線形や水処理の工夫次第で、しっかりした路面状態を維持できており参考にしたい」との意見があった。	
					民有林	8名			
					事業体	36名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	61名			
作業システム	全木集材現地検討会	8月10日	上川中部森林管理署	愛別町（国有林）	国有林	49名	林業の低コスト化及び木質バイオマス資源の供給に資するため、素材生産における全木集材の実証による現地検討を実施	主伐・再造林に向け作業効率、地拵え省略、笹生地植栽、コンテナ苗植栽、土砂流出、マルチング効果、下刈り省略、バイオマス利用の説明を行った。 意見交換では「このような検討会のチャレンジに敬意を表したい」という評価や、「全木集材という言葉がわかりづらい」「作業システムは現地に合わせて採用すべきでは」等の意見が出されました。 今後、全木集材の言葉の使い方や、低コストでバイオマス利用も考慮した作業方法を検討したい。	
					民有林	19名			
					事業体	44名			
					研究機関	4名			
					その他	名			
					合計	116名			
作業システム	国有林野事業の施業実績を活用した「森づくり勉強会」（間伐の実施に関する現地検討会）	9月28日	空知森林管理署	三笠市（国有林）	国有林	9名	市町村森林行政担当者等の技術の向上を図り、地域の森林・林業が抱える各種課題の解決に資する取り組みに繋げるため、間伐と作業システムに関する現地検討会を開催	森林総合監理士による市町村支援の取組説明、現地検討では、高性能林業機械による間伐実施の事業概要、伐採（ハーベスタ）から運搬（フォワーダ）に至る作業の実演及び説明を行った。 意見交換では、「高性能林業機械の作業内容や稼働状況を見学でき、作業システムを考える際の参考となった」「需要を踏まえた素材の販売に向けた採材方法の工夫など参考となった」「伐採箇所や伐採木の選定方法等事業実施の基礎的な勉強会を実施してほしい」などの意見があった。 国有林の作業現場での勉強会の経験は、参加者からの反応も良かったものの、森づくりの具体的な整備方法等について、引き続きの実施が必要。	
					民有林	28名			
					事業体	5名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	42名			

現地検討会の様子

スイッチカーブの説明

現地の概要を説明

伐採（ハーベスタ）作業の実演

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
作業システム	低コスト化推進等現地検討会	11月16日	網走中部森林管理署 新生紀森林組合	置戸町（国有林）	国有林	4名	高性能林業機械や列状間伐等の低コスト施業の普及により民有林への低コスト化の推進を図るため、関係機関（新生紀森林組合）と連携し、地域の事業者を中心とした現地検討会を実施	素材生産請負の実施箇所において、森林作業道を利用した国有林での作業システム、列状間伐の仕様や考え方、採材方法などを署の担当者により説明。フォワーダによる集材作業を現地で見ながら意見交換を実施した。意見交換では「列状間伐の伐採列の仕様はどうなっているのか」「フォワーダによる集材は複数台で組み合わせることでより作業が効率化できるのでは」等の意見が出されました。 今後も安定的な木材生産を推進させるため、施業の低コスト・効率化に向けた検討会の継続を検討している。	
					民有林	3名			
					事業者	4名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	11名			
署担当者による現地概要説明									
間伐	列状間伐（搬出間伐）現地検討会	11月25日	檜山森林管理署 檜山振興局森林室	北斗市（国有林）	国有林	4名	列状間伐（搬出間伐）の導入定着に向けた現地検討会の実施	列状間伐事業地において、事業者の現場代理人等と交え現地検討会を実施した。 意見交換では「初回間伐でも搬出するのか」「素材の販売方法は」「作業道の作設方法は」などの意見があり、事業者へは「数量がどのくらいあれば請け負ってもらえるか」の質問に対して「数台分の搬出材があれば可能では」などの意見があった。 今後も、森林室等と協力し列状間伐（搬出間伐）が地域に定着するよう民有林関係者等への現地検討会を開催していくこととしている。	
					民有林	21名			
					事業者	1名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	26名			
列状間伐現地検討会									
作業システム	農林水産連絡会議現地視察	11月29日	渡島森林管理署 檜山森林管理署 北海道開発局函館開発建設部 北海道農政事務所函館地域拠点	森町（国有林）	国有林	6名	地域における農林水産業を管轄する北海道開発局、北海道農政事務所、北海道森林管理局で構成する農林水産連絡会議の現地視察として国有林の伐採・搬出現場を視察し林業への理解を促進	林業の現場作業を見る機会の少ない北海道開発局、北海道農政事務所の担当者を国有林の生産事業実行箇所に招いて伐倒、集材、造材、搬出、巻立の各工程を見学していただいた。 参加者からは、林業も機械化が進んでいることへの驚きの声寄せられた。	
					民有林	名			
					事業者	名			
					研究機関	名			
					その他	10名			
					合計	16名			
フォワーダへの積込作業									